

(1) 計画の目的

高石駅周辺は、平面鉄道により分断された東西のまちの一体性・利便性・安全性を確保するため「南海本線・高師浜線（高石市）連続立体交差事業」が進められています。

この鉄道高架化により生まれる新たな人の流れや高架下空間を最大限に活用し、高石駅を中心として東西のまちが一体となることで、より一層魅力があふれる新しい駅周辺エリアとして生まれ変わると共に、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の実現を目指すため、令和2年度に「高石駅周辺整備基本構想」、令和4年度に「高石駅周辺整備基本計画」を策定しました。

今回策定する「高石駅北側高架下等整備基本計画」は、高石駅北側高架下や隣接する公有地において過年度調査で把握した**市民ニーズ及びアプラたかいしや東側駅前広場等との相乗効果を踏まえた公共施設整備**について検討します。

(2) 整備目標

高石駅の高架化により生まれた北側高架下空間は、**高石市の東西のまちを繋ぐきっかけの場**となり、高石駅周辺整備における重要な役割を担う場であると考えます。上位計画及び関連計画・関連事業における成果や方針を引き継ぎ、高石駅周辺の「地域の将来像」及び「まちづくりの4つの目標」（下記参照）を踏まえた整備を行うことで、**高石駅周辺のまちづくりを牽引する計画**とします。

■ 地域の将来像 **「人がつながる、集う場となる、ひらかれた駅前」**

高石駅周辺 地域の未来像（高石駅周辺整備基本構想 P.3 より）

■ まちづくりの4つの目標

駅前商業の
活性化

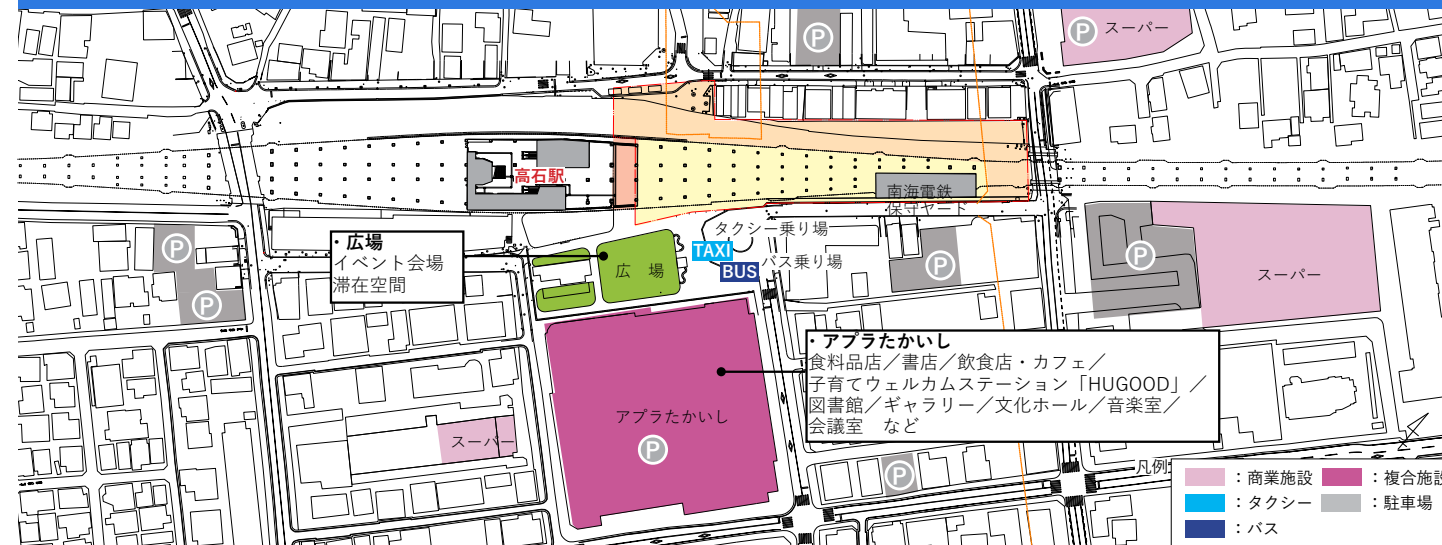
住みやすい
まちづくり

公共空間の
再構築

官民の協働

高石駅周辺 地域の未来像（高石駅周辺整備基本構想 P.20 より）

(3) 周辺の状況



高石駅周辺は、電車、自動車、自転車、徒歩などあらゆる手段でアクセスしやすい場所です。周辺には閑静な住宅街が広がる一方、アプラたかいしをはじめとした商業施設が徒歩圏内にあり、図書館・ギャラリー・文化ホールなどの芸術・文化施設も充実しています。駅直結の高架下空間に、**周辺施設の連携を高め、駅利用者の滞在、回遊行動につながる施設を整備することで、現状の駅周辺の潜在力を活かしながら、まちの魅力・活力向上や、賑わいの醸成、多世代交流の促進に寄与**できると考えます。

(4) 市民ニーズの抽出

賑わい溢れる駅前空間の実現に向け、高架下の活用方法を公園・広場の機能として、遊戯施設を想定し、子どもたちが「**からだを動かす楽しさ**」を体感できる社会実験を実施することで、新しい駅前空間の想像やニーズを把握し、具体的な整備計画を検証しました。社会実験時に実施したアンケート及びワークショップから、地域住民が高架下に求めている場・魅力ある場を探りました。

社会実験結果からみた考察

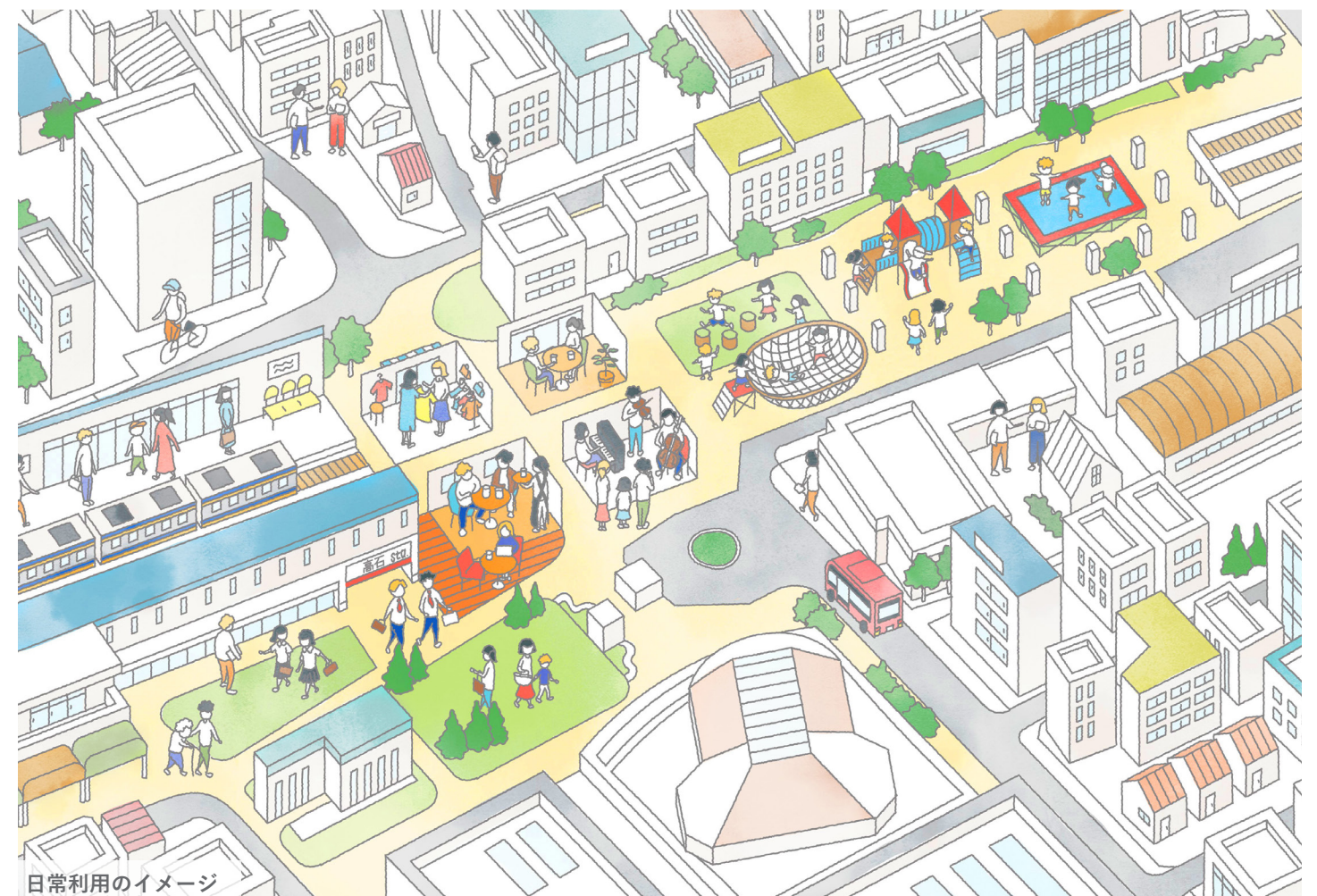
■ 高架下には “ **子どもが遊べる・運動できる機能** ” が求められている

アンケート結果より、高架下には「広場」、「公園・遊戯施設」、「運動施設」を求める声が全体の60%程度を占め、ふわふわドームやネット遊具を中心に、**子どもが遊べる・運動できる遊具施設**が望まれていました。

■ 小さな子どもからお年寄りまで

多世代が安全に憩える空間づくりが望まれている

ワークショップの結果より、**小さな子どもからお年寄りまでが交流し、安全に過ごせること**を望む声が多く見られました。また、遊具以外に欲しい機能としてカフェ、テラスなどが挙げられ、**ゆっくりと憩える場**が望まれていました。



日常利用のイメージ

(5) 整備コンセプト

高石駅周辺のまちづくりに対する高石市の方針

子育て世代の定住促進

→第5次高石市総合計画 P65 より引用

多世代交流の促進

→第5次高石市総合計画 P54.66 より引用

ウォーカブルなまちづくりの推進

→第5次高石市総合計画 P53.65.66 より引用

高架化によるまちの活性化

→第5次高石市総合計画 P54.55.56 より引用

上記を踏まえ、高石駅北側高架下空間は以下をコンセプトに計画を進めることを検討しています。

コンセプト

『子育てするなら高石市』の顔となる
365日いつでも子どもと過ごす
時間をつくれる遊び場をつくります



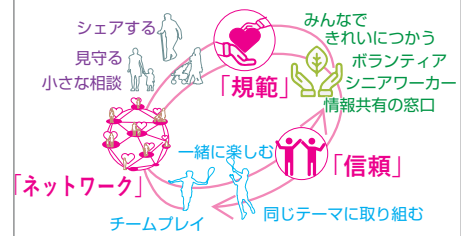
- ・雨天時や真夏日も、思い切り遊ぶことのできる場
- ・小さな子どもも安全に、大きな子どももののびのと、一度にたくさんの子どもが遊べる場
- ・ついでに気軽に立ち寄れる、いつでも利用できる身近な遊び場
- ・休憩しながら安心して子どもを見守れる安全な遊び場

多様な主体が担い手となり、
将来に渡り魅力を維持し、
賑わい・活力を未来につなげる
文化・芸術を軸とした多世代交流
の場をつくります



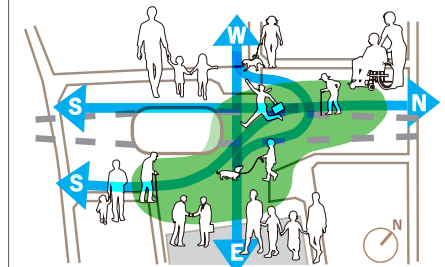
- ・シニアの居場所、子どもの遊び場がある多世代交流の場
- ・大人も子どもも出会いがあり、情報共有できる場
- ・様々な利用者に配慮した、皆が安心して集うことのできる場
- ・多様な主体が集まり、文化・芸術を軸にまちの魅力を発信し続ける場

『ウォーカブル推進都市たかいし』
を繋ぐ拠点として
人々が訪れたい、滞在したくなる、
居心地の良いコミュニティの場
＝人々を繋ぐ場をつくります



- ・緑と潤いのある、歩いて訪れたい、リラックスできる場
- ・集まり、遊んで、食べて、滞在する、すべてがそろった一日過ごせる場
- ・いつもきれいで明るく、気持ちよく利用できる場
- ・子どもも大人も体を動かすことのできる健康に過ごし続ける体づくりの場

東西・南北のまちをつなぎ、
活性化させ、
人を惹きつける魅力と活力があふれ
賑わい発信の場をつくります

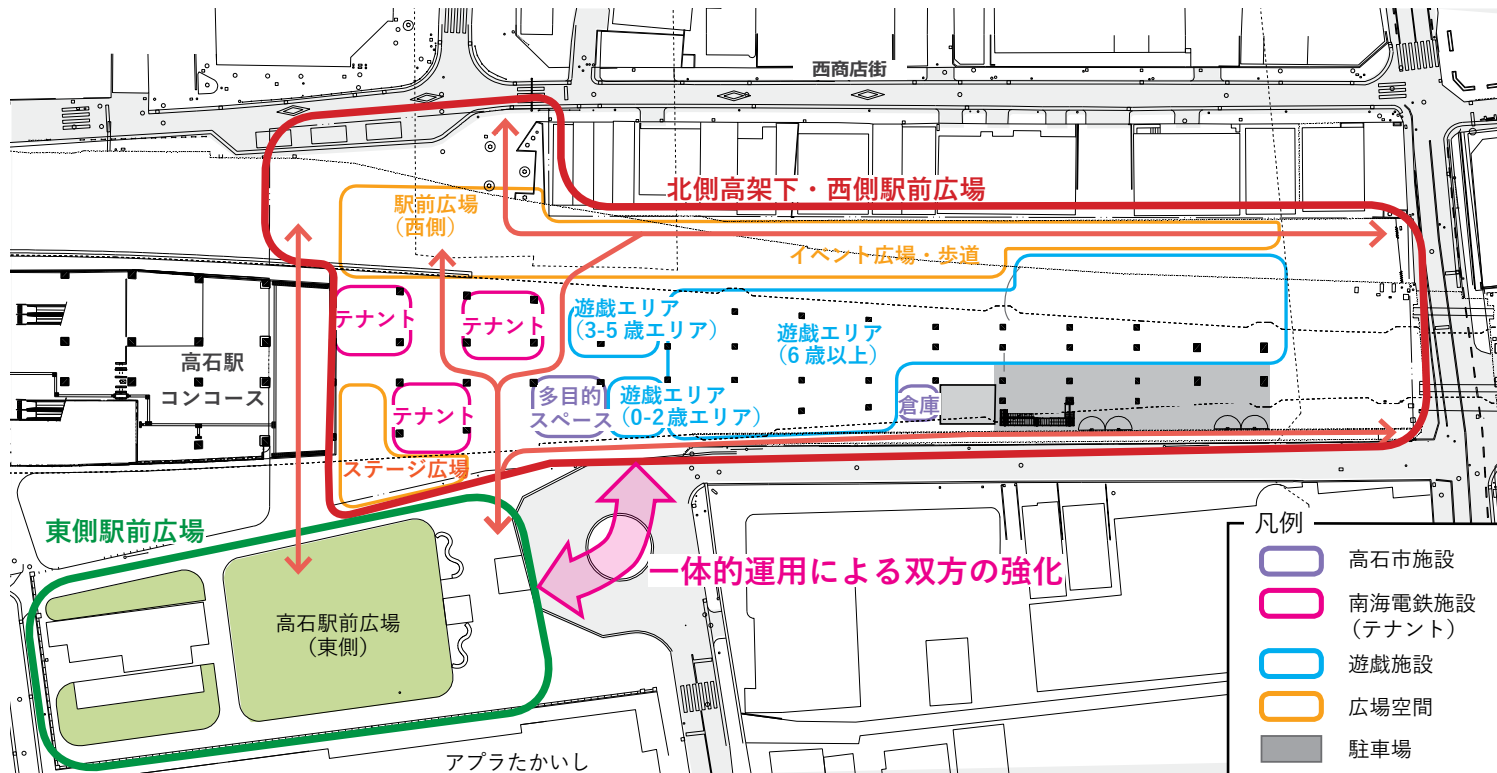


- ・他にない、高石駅ならではの賑わい・情報発信の場
- ・あらゆる方向から駅に集まることのできる動線・広場配置
- ・駅周辺施設をつなぎ連携させる場

魅力・活力にあふれ 高石市民の生活を豊かにする 高石にしかない まちの拠点施設の整備

(6) 整備計画ゾーニング

基本方針の考え方と地域住民に対するWS・アンケートを基盤とした、高石駅北側高架下整備の計画ゾーニングイメージです。



凡例

- 高石市施設
- 南海電鉄施設 (テナント)
- 遊戯施設
- 広場空間
- 駐車場

一体的運用による双方の強化

北側高架下・西側駅前広場

- ・飲食できる広場
- ・全天候型の空間
- ・トイレの設置
- ・屋内遊具
- ・倉庫
- ・歩車分離の徹底

東側駅前広場

- ・大きな広場
- ・晴天時のイベント利用
- ・座ってくつろげるスペース
- ・大人数が集える広場

双方の広場の機能を補完する

- ・居心地よい、くつろげる緑の空間
- ・イベント広場による東側芝生広場との一体的利用
- ・安全・安心 (交通も多い)
- ・周遊できる空間
- ・多様な利用であきのこない空間
- ・高齢者や小さい子連れの方にもやさしい空間
- ・夜間も安心な空間

(7) ロードマップ

		R5	R6	R7	R8
本計画	高石駅 北側高架下	設計		整備	
	高石駅 西側市有地				
関連事業	高石駅前広場 (東側) 整備	整備			
	南海本線・高師浜線 (高石市) 連続立体交差事業	整備			

高石駅周辺の整備は、上記の工程にて段階的に計画を進めていく予定です。

